



写真:『槍ヶ岳遠望』(撮影地:槍沢にて) (撮影:題佛真覚実)

新生会第一病院 内科部長 古賀俊充

平素より当院の診療にご協力いただき誠にありがとうございます。

当院は腎臓病診療に力を入れており、患者様の状態に合わせて様々な治療をおこなっております。腎臓の機能が健常人よりも低下した状態を慢性腎臓病(CKD)と呼びますが、日本では成人の8人に1人はいるとされています。

そんな国民病と言われる慢性腎臓病も近年は治療法が大きく変わってきました。

腎機能の低下を抑え、腎保護効果が期待できる「SGLT2阻害薬」や「非ステロイド型MRA」、腎性貧血を飲み薬で治療できる「HIF-PH阻害薬」などの新薬が次々と登場してまいりました※。

さらに当院では新薬を用いた外来診療だけでなく、「腎臓病教育入院」にも力を入れております。腎臓病教育入院では、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士など様々な医療スタッフが腎臓病診療に必要なノウハウを伝授いたします。こうした腎臓病教育入院を受けて頂くことで、腎臓病の理解と合併症予防が可能となり、腎機能を長持ちさせることができます。

腎臓病は初期にはほとんど症状が無く、血液検査や尿検査で異常が見つかる場合がほとんどです。しかし、早期に検査・治療をおこなうことで、大切な腎臓を守ることができます。ご自身の腎臓の状態が気になる方は、お気軽に当院スタッフへご相談ください。

※処方できるかは患者様の状態により異なります。また、全ての方に効果があるわけではありません。

けんこう
百花
109号

新生会
情報誌

IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY



透析治療を長期に継続されている患者さんから貴重なお話を伺うことができましたので紹介いたします。これからも透析患者さんの健康長寿に寄与できるよう、職員一同医療の質の向上に努めてまいります。



◆ 森崎 明さん：透析歴32年

透析導入前の1988年に母から移植を受けましたが2か月後には透析になりました。一時腹膜透析や献腎移植をしましたがいずれも3年程度で透析に戻りました。その後はほぼ順調で、妻と行ったスイスや沖縄旅行、音楽活動への参加も楽しかった思い出です。透析25年を過ぎたころからアミロイド症によるバネ指や手根管の手術、心疾患の手術もしました。導入以来シャントは一度も手術をせずに使っています。穿刺部を変えながら血管を成長させ、シャント肢を怪我しない、体重管理に気を付ける等、安定した透析を続けていきたいと思っています。

◆ 三輪 二三子さん：透析歴28年

私に透析治療が必要となった時期に父が新生会で透析をしていました。透析についていろいろ教えてもらったりしていたのでためらいはなかったです。父とは透析に通う時間は違っていたので透析室で一緒になる事はなかったけれど父の存在で安心感があったのを覚えています。私は血管が細かったのもあって看護師さんに迷惑をかけていたのではないかと思います。シャントも詰まりやすくOpeやPTAを繰り返していました。食事はずっと父が作ってくれていましたが父が亡くなった後は母が食事管理をしていてくれました。私は仕事もしていたので家族に助けをもらいながら生活していました。透析に来たくないとかそんな思いにはなったことが無いですね。同じクリニックで頑張っていた患者さんとも仲良くなって今でも会えば話もするのでとても楽しいし心強いです。でも唯一大変だと思ったことは心臓の手術をしたことです。ずっとリンが高かったのもあって石灰化で弁の手術をしたことが本当につらかったです。だから食事管理は特にリンに気を付けるようになりました。

少し前に母が亡くなり、自宅で弟と看取りました。姉弟の二人になってしまったので、一緒に協力してまだまだ長生きをしたいと思っています。

◆ 本田 さよ子さん：透析歴38年

あつという間に過ぎた感じですね。透析に通う事は仕事だと思っています。透析に来ない日は自由なので好きな事をして過ごしています。（時には透析に行きたくないなあと思った事もありますよ（笑））。透析＝絶望って考える人もいるかもしれないけどそうではないと思っています。透析導入となったら一生の治療となるからどうしても辛くなってしまったり、ましてや透析中に血圧が下がったりして嫌な思いをすることで透析のイメージが悪くなって透析に拒否的になってしまう事もあると思います。だから透析について勉強することは必要だと思っています。自分が透析を始めた時はしっかり勉強がありました。でも、そのおかげでなぜこれを気を付けなければいけないかの意味が分かるから自分は食事・水分管理は辛いと感じた事はないです。2日空きは気を付けるようにしてたけど飲みたい時は飲んでいました。制限があるとストレスになってしまうからストレスを感じないようにする事も必要だと思っています。私が透析を始めた時には貧血の注射がなかったから輸血をしていました。その後エリスロポエチンが出てきたことで貧血が改善したことは生活するうえでも大きかったです。あと1年で40年になるけど長生きしたい。これからも透析生活を継続していく事へのモチベーションが保てるような事があるといいなと思いますね。

◆ 菅沼 藤吾さん：透析歴46年

私が透析を始めた時はちょうど5月の連休だったこともあったからか透析は2日続けて3時間透析して3～4日休みでした。水分制限もしていたけど3日空きだと体がパンパンになっていましたね。機械も今と違って血流はストップウォッチで測って調整していました。自己穿刺もしていたし、透析のない日は勉強に通っていてテストもありました。透析は新生会にしばらくは通っていましたが途中から十全クリニックに変わり夜透析に通っていました。仕事をしていたから透析日は17時に切り上げて透析に行っていました。職場の理解もあって仕事もしやすかったです。2泊3日で北海道旅行に行ったときには帰る日に霧がひどくて飛行機が飛ばないってなった事があり透析ができないとヒヤヒヤしたけど1時間後に飛行機が飛んだから透析に行く事が出来たという事もありました。

管理についてはそんなに意識してないです。食事管理はずっと妻がしてくれているし栄養指導も受けてくれてたりしていたから管理で困った事はないですし外食する事もほとんどなかったです。シャントや透析中の大きなトラブルもほとんどないと思います。今は非透析日の月水金はデイサービスに通ってお風呂にも入れてもらってます。透析に来ない日も忙しく過ごしています。



新生会第一病院の理念と基本方針

- (理念) 新生会第一病院は、地域が必要としている医療と、腎臓病・透析療法の専門的医療を提供し、人々から信頼される「アットホームな病院」をめざします。
- (基本方針) 1. 私たちは、患者さまの権利を尊重し、生命と人生を大切に、患者さまに満足していただける医療の実践をめざします。
 2. 私たちは、自らの成長をととして、医療の質の向上をめざします。
 3. 私たちは、保健、医療、介護、福祉機関相互の連携をはかり、地域に開かれた病院づくりをめざします。

患者さまの権利

1. 個人の尊厳が守られる権利
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重します。
2. 医療を受ける権利
良質で適切な医療を公平に受けることができる権利を尊重します。
3. 知る権利・学習する権利
病名や病状などの医療情報について十分な説明を受ける権利、また、病気や疾病予防、健康について学習する権利を尊重します。
4. 自己決定の権利
緊急の場合を除き、治療方法などについて、自分自身の意思で選択、又は、拒否することができる権利を尊重します。
5. プライバシー保護の権利
医療上の個人情報には十分に配慮される権利を尊重します。

患者さまの責務

1. 情報を提供する責務
自分の健康や病気について、医療者にできるだけ正確に情報を提供する責務があります。
2. 質問する責務
提示された医療行為の説明を、自分が理解できるまで質問する責務があります。
3. 行動の責務
すべての患者さまが適切な医療を受けられるために、病院の定めた規則を守る責務があります。

新生会第一病院 外来診療体制表

| | | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 一般内科 | 午前 | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 腎臓内科 | | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 整形外科・リウマチ科 | | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |
| 糖尿病・内分泌内科 | 午後 | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | △ |
| シャント外科 | 予約制 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| リハビリテーション科 | ※ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ |

診療時間：

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) /
 午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
 (曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病・内分泌内科の日に糖尿病栄養外来、
 糖尿病看護外来を実施 ◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科：透析ベッド 100 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒468-0031 名古屋市天白区高宮町1302

電話 (052)808-2100 FAX (052)808-3232

ホームページ <https://www.hospny.or.jp/shinseikai/>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診や急変した場合は予約がなくても受け付けますのでお電話ください。また、予約の変更がしたい場合は、電話にてお問い合わせください。)

